

BCS-010

デジタル放送チューナ 誤り率測定器



BCS-010 Bit Error Count System

対象

本装置は（Model:BCS-010）、地上デジタルテレビジョン放送用チューナ（復調機能内蔵）から出力されるMPEG TS信号のデータ誤り率を測定する装置です。

特長

◆ オールインワン

チューナ検査工程においてBER測定に必要な機能（BER測定、電源回路、チューナ制御回路）をオールインワンで搭載していますので検査工程における**省スペース化**、**省コスト化**へ貢献致します。今まで必要としていた電源装置、電流計が不要となります。

◆ 誤り率の自動判定機能

測定したBER値に対して予め任意のしきい値を設定することが出来ますので制御側のシーケンスが簡略化され、製品需要に応じた検査工程の編成を短時間で実現可能です。

◆ 測定した誤り率に対して、任意のしきい値を設定可能

設定されたしきい値を超えた場合はLEDで表示するとともに、リモート機能をもちいてBERの結果と共に読み出すことができます。

◆ 多様なBER測定条件が設定可能

入力端子：DVB-SPI、シリアル、DVB-ASI（オプション）

データ：Null Packet、PRBS

PRBSについてはPN23、PN15及び論理の反転、非反転の設定が可能

TSパケット：SYNCバイト+ペイロード、SYNCバイト+PID+ペイロード

クロックエッジ：立上がり、立下り

PIDによるフィルタリング：PIDは任意に設定可能です。

◆ 測定結果はログとしてコンパクトフラッシュメモリに保存

内部メモリに測定結果（トータルビット数、エラービット数、BER値）を保存しています。

このログデータは本体背面に搭載されるコンパクトフラッシュへ書き込むことができます。

仕様概略

一般仕様	
動作環境条件	10~40°C、30~80%（但し、結露状態を除く）
定格電源	AC 85V~264V、50Hz/60Hz
消費電力	40W以下
本体	315 (W) X 79 (H) X 216 (D)、5Kg以下
TS信号入力部	
DVB-ASI入力	0.8Vp-p、75Ω (BNC)
DVB-SPI入力	LVDS、差動100Ω (D-sub 25ピン)
シリアル入力	DVB-SPI端子を共有、データはD0端子のみ使用
入力形式	MPEG-2 TS、188、204byte、最大70Mbps
エラー検出部	
BER測定方法	PRBS又はNull Packetを用いて測定します。
PRBSパターン長	2 ²³ -1、2 ¹⁵ -1
測定時間	1~3600.0秒の範囲で測定できます。
測定結果判定	BER測定値に対して任意のしきい値を設定することができます。判定結果はLED表示します。
電源部	
VB1~VB4	+1~+5V/0.01Vステップ、最大300mA、電流モニタ機能付き
BT	+0.1~+35V/0.01Vステップ、最大10mA
AGC、AFT	+0.1~+10V/0.01Vステップ、最大10mA
外部電圧モニタ	入力38V以下/分解能0.01V ×1端子、6V以下/分解能0.01V ×3端子
制御信号形式	I2C
外部インターフェース (RS-232C、GP-IBはどちらか一方のみ選択できます。)	
RS-232C	D-sub 9pin(×1)
GP-IB	IEEE 488.2に準拠(×1)
LAN	10BASE-T/100BASE-T(×1)
USB	USB-B(×1)
メモ리카ードスロット	CFA TYPE-Iのコンパクトフラッシュカードに準拠しています。
リモート制御部 (制御信号の内容についてはご相談の上決めさせていただきます)	
インターフェース	入力8bit、出力8bit、D-sub 25pin(×1)

製造元

株式会社 メック

福岡県小郡市福童 196-1 〒838-0137

Tel:0942-41-2101 Fax:0942-41-2105

URL <http://www.mecc.co.jp>

販売代理店